

貸借対照表

令和 7年 3月31日 現在

道央舗道

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	784,001,534	【流動負債】	381,476,301
現金及び預金	17,713,073	工事未払金	136,227,968
完成工事未収入金	72,325,969	未払金	11,107,200
売掛金	1,210,000	未払費用	17,258,668
材料貯蔵品	116,020	未払法人税等	4,513,200
未成工事支出金	209,236,939	未成工事受入金	211,503,604
短期貸付金	482,211,520	預り金	865,661
未収入金	494,384	負債合計	381,476,301
立替金	399,549	純 資 産 の 部	
仮払金	71,780	科 目	金 額
その他流動資産	222,300	【株主資本】	410,985,333
【固定資産】	8,460,100	資本金	20,000,000
(有形固定資産)	1,077,156	(利益剰余金)	390,985,333
工具器具及び備品	1,077,156	利益準備金	5,000,000
(無形固定資産)	353,262	繰越利益剰余金	385,985,333
ソフトウェア	60,678	純資産合計	410,985,333
その他無形固定資産	292,584		
(投資その他の資産)	7,029,682		
出資金	610,000		
長期前払費用	6,253,682		
その他投資等	166,000		
資産合計	792,461,634	負債純資産合計	792,461,634

個別注記表

自 2024年 04月 01日
至 2025年 03月 31日

道央舗道株式会社

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金

個別法による原価法

材料・貯蔵品、製品

移動平均法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定額法

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。

無形固定資産

定額法

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

金銭債権等の貸倒による損失に備えて、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備えて、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上している。

完成工事補償引当金

完成工事に関するかし担保及びアフターサービス等の支出に備えて、過去の実績を基礎とした見積補償額に基づいて計上している。

(4) 収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗度の見積りは原価比例法）を適用し、その他の工事については工事完成基準を適用している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。